



伊方小改築工事はじまる

三階建 一億五千万円で建設

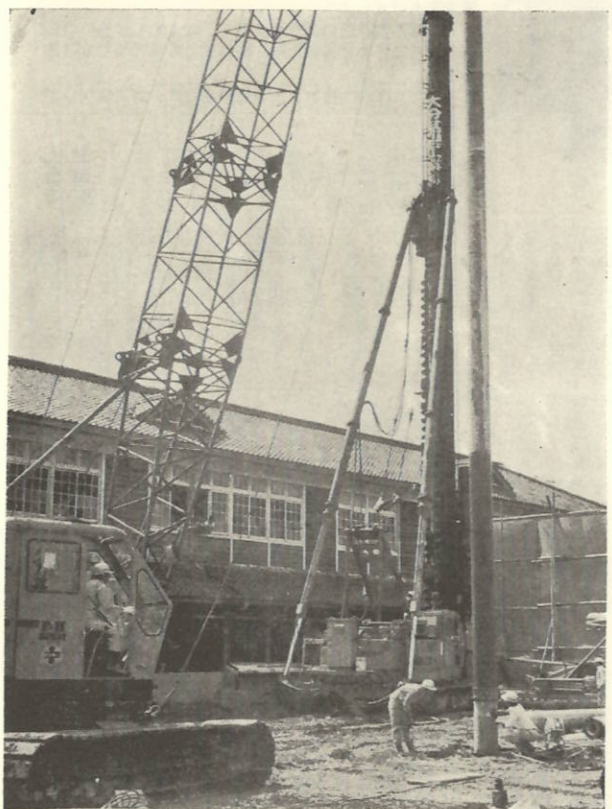
完成は明年二月末

伊方小学校校舎の建設工事がいよいよはじまりました。建設場所は木造二階建の危険校舎の北側で、完成は明年二月末の予定です。

延面積一千五百九十五平方メートルを有する鉄筋コンクリート三階建、建設工費は一億四千万九千四百円、設計監費委託料、地質ボーリング調査費等を含めると、約一億四千八百円の巨費を投入して建設するものです。

建設場所は木造二階建の危険校舎の北側で、完成は明年二月末の予定です。

建設物は長さ四十七、六メートル、高さ二メートルあります。最も深層部に達するものです。現在使用の木造二階建の校舎は、新しい建物で完成するまで、そのたいへんご迷惑をかけるが、四



長さ32メートルのコンクリートパイル70本を打ち込む基礎工事が、現在進められています。

町 室 所
伊方町 長 印 上
尾

三階は図書室、図工準備室、家庭科室、家庭科準備室、理科室、理科準備室、音楽室(ステーション)からなっているほか、各階に十畳に建設されたので、三十六年の月ととも老化した危険校舎との関係上、改築の運びになったものです。

基礎工法としては、建設現場付近のみならず迷惑がからないように、はめ地中に穴をくり抜いてその中へコンクリート杭を打ち込む乾式ボーリング工法により、り同年三月に盛大な記念行事が予定され、記念碑の建立、記念誌を発行する予定です。

この工法は直打ち式より工費は高くなりますが、付近の家屋に迷惑をかけるような配慮してあえてこの工法を選んだものです。

建設地の地盤は、ボーリング調査の結果、軟弱な土質がたまたま長さ三メートルのコンクリートパイルを七十本打ち込み、強固な地盤に仕上げますが、この長さは町内建設の地盤としては最も深層部に達するものです。

建設物の搬入等で交通の問題、騒音、P.T.A.会長、学女長、児童代表、男女各一名、男女関係者多数が列席し、玉串奉奠、町長の御挨拶がなされました。

百一人の子どもたちが待たるその新校舎の建設です。何分のご協力をお願いします。

よい子のみなさん
工事現場には
近寄らないで
よい子の伊方小のみなさん

工事の無事祈る 起工式

完成まで工事の無事を祈る起工式が八月十四日伊方小学校の建二階末完成をめぐりスタートをきったわけです。

当日は工事担当者(大成建設、設計監理者(大建設))松山市、町側から町長、収入役、教育長、伊方小改築特別委員長、町議会議員、P.T.A.会長、学女長、児童代表、男女各一名、男女関係者多数が列席し、玉串奉奠、町長の御挨拶がなされました。



児童代表2人が玉串を奉奠しました。

母子保健推進員さん紹介

- 町と母子(妊産婦、乳幼児等)のみなさんとを結びパイプ役として活躍いただく各部落の母子保健推進員さんはつぎの方々です。
- 母子保健に関するところでお聞きしたいことがある場合は、お気軽にご相談ください。
- 大浜 中藤フジエ、吉平 恵子、二宮寿賀子、川上志真子、川上シマエ、橋本照子、梶谷朝子、西岡亜津、福島カツエ、松田豊子、松田君シエ、松田マシエ、井上光子、井上慶子、井上文子、清家ノブコ、清家みちよ、若見まき子、堀内百恵、堀内シゲミ、藤田鹿子、藤田ソダ子、高野ナカエ、岩井貞子、岩井富子、山下マサ子、末光サ子、末宮カヲル、道元栄子(敬称略)

お世話さます 補導員さん

- 町の補導員さんがまします。子どもたちの防犯対策、補導にと種々お世話いただきます。明るい町づくりのため、みんなで協力しましょう。
- 会長 宇都宮正義(伊方中) 尾崎洋一(小中浦) 堀内久一(向) 監事 宇都宮豊一(仁田之浜) 中山若好(大成) 大西幹男(伊方中) 幹事 大西幹男(伊方中)
- 地区補導員
- 大浜 〇木戸 俊恵、〇菊池 忠孝、〇仁田之浜 宇都宮豊一、〇内浦 吉春、〇河湊 清洋、〇小中浦 正男、〇中川 敏光、〇川上 保照、〇川上 俊保、〇伊方 秀満、〇堀内 義文、〇堀内 昭一、〇須久 一市、〇須久 健一、〇須久 樹利、〇須久 明造、〇須久 好富、〇須久 繁略(敬称略)
 - 小中浦 〇西岡 亜津、〇福島 カツエ、〇松田 豊子、〇松田 君シエ、〇井上 光子、〇井上 慶子、〇井上 文子、〇清家 ノブコ、〇清家 みちよ、〇若見 まき子、〇堀内 百恵、〇堀内 シゲミ、〇藤田 鹿子、〇藤田 ソダ子、〇高野 ナカエ、〇岩井 貞子、〇岩井 富子、〇山下 マサ子、〇末光 サ子、〇末宮 カヲル、〇道元 栄子(敬称略)
 - 伊方 〇越浦 奥向畑 須賀 保、〇西見 周、〇加田 富成、〇大鳥 成津
- 〇印は警察協助力員(敬称略)

川永田UHF局

「テレビ愛媛」の開局は二月末

川永田向山のUHF局には、現在この愛媛放送のUHF局が完成する。N.H.K.南海放送テレビの二つことにより、川永田向山を基局が建設され電波を流している。局が、町では愛媛放送テレビは、県下で放送されているすべて(二)とも交渉した結果、明年度のUHF局の映像が鮮明に見えるようになる予定です。

二見局が開局することによって、いままで不明であった見地城一円と九町地区の大半(二見)N.H.K.総合テレビが「五十チャンネル」のUHFアンテナが見える。教育テレビは「四十七チャンネル」のN.H.K.番組の映像がよく見られる。位置で受信しやすくなる。

三階建のデックイ校舎が建てられ、先生の注意を良く守って工事現場には近寄らないでください。万が一がなあってはたいへんです。みなさんの学校を建てたい。おさんたちの仕事のじゃまにならないよう気を付けてください。

テレビ離れ地対策として二見の忠城山の頂上建設して見守る。UHF局が完成したらN.H.K.の二見UHF局が完成する。このUHF局からの電波を九月八日から試験電波が流される。このUHF局からの電波を受ける場合、UHFアンテナを建てなければならない。UHFアンテナの建て方。UHF局アンテナの見守る場。不鮮明な地域として、N.H.K.四所。本館へ建設をお願いしていた。UHFアンテナを動かして、最もきれいに見えるところを固定して、いままで不明であった見地城一円と九町地区の大半(二見)N.H.K.総合テレビが「五十チャンネル」のUHFアンテナが見える。教育テレビは「四十七チャンネル」のN.H.K.番組の映像がよく見られる。位置で受信しやすくなる。

二見UHF局が開局 鮮明になる映像

